

トヨタミライドンプロジェクト始動

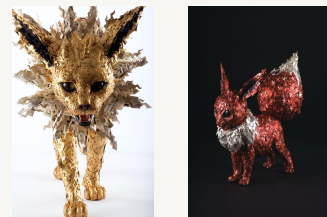
国内

トヨタ技術会とポケモンは、「トヨタミライドンプロジェクト」を始動しました。本プロジェクトは、想像することの楽しさとモノづくりの力を子どもたちに伝えることを目的としています。このたび、子どもたちが思い描いた未来のモビリティのアイデアを元に、ポケモンの姿をしたミライモビリティ、トヨタミライドンを製作。このモビリティはほぼ実物大であり、「ドライブモード」「4足モード」への変形や動作が可能です。



ポケモン×工芸展 国内巡回開始

本展は、2023年から2024年にかけて、石川県金沢市の国立工芸館とアメリカ・カリフォルニア州のJAPAN HOUSE LOS ANGELESで開催され、ポケモンと工芸のコラボレーションを通じて、多くのお客様にそれぞれの新しい価値や豊かさを発見していただくことができました。若手から人間国宝まで、20名のアーティストが本気で挑んだ約70点の工芸作品は、2024年6月まで、滋賀県の佐川美術館でご覧いただけます。今後は、静岡、東京、愛知、青森、長崎への巡回を予定しています。



吉田泰一郎《サンタース》《イーブイ》個人蔵 撮影：斎城卓

韓国で「ポケモンタウン2024 with ロッテ」を開催

海外

韓国のソウルにて、「ポケモンタウン2024 with ロッテ」を、ロッテグループと共同で開催しました。2024年4月26日から5月19日の会期中、市内のソクチョン湖に出現した巨大なラプラスとピカチュウのバルーンがメディアやSNSで大きな話題となり、さらに、グッズの販売、ポケモンの韓国におけるアニメ放映25周年記念イベント、オーケストラコンサート、パレードなども行われました。

ポケモンは、2014年から毎年、こどもの日に合わせたイベントを韓国で実施しており、今回はゲームやカードゲームの体験会、大会も開催されました。ロッテグループの協力のもと、今回は過去最大規模となり、5月19日までに累計約323万人が訪れました。「ポケモンが子どもから大人まで幅広く親しまれていることを改めて実感した」といった感想も寄せられました。



インドのプロクリケットチームとのコラボレーション

2024年3月、ポケモンは、インドの強豪クリケットチームであるムンバイ・インディアンズと2024年公式パートナー契約を締結しました。ピカチュウが、ホームコートであるムンバイのワンケデ・スタジアムでチームを応援し、シーズン終了までの計7試合で54000人以上のファンを迎え、キッズデーとされていた第2試合には一日に10000人以上の子どもたちが訪れました。また、SNSキャンペーンやパートナーシップを記念した動画の公開など、デジタル空間でも、このコラボレーションをファンの方々にお届けしています。このほかにも、ポケモンは、『Pokémon GO』や『ポケモンユナイト』『ポケモンスマイル』のヒンディー語対応や、テレビアニメ新シリーズの放送開始など、インドの方々にもポケモンの魅力をお届けするべく、取り組みを拡大しています。



ラテンアメリカにおける展開について

Niantic社と、ポケモンのグループ会社であるThe Pokémon Company Internationalは、2024年5月5日に『Pokémon GO』の中南米スペイン語版のローンチを発表。イベントの会場には、約2000人のファンと多くの現地メディアが集まりました。地元の言語を用いてローカライズすることで、中南米の方々にもよりポケモンに親しんで頂ければ、と考えています。

さらに、ポケモンカードゲームの公認店舗も増加しており、メキシコ国内だけで約170店舗以上にまで拡大するなど、『Pokémon GO』に限らず、さまざまな分野で中南米でも活動を広げています。



中南米スペイン語ローンチ発表会の様子



ビデオゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズ

ポケモンの原点である『ポケットモンスター 赤・緑』の、ポケモンを捕まえ・育て・集め・対戦する、4つの要素はそのままに、最新作の『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』では、シリーズ初のオープンワールドを冒険することができます。

他にも、『名探偵ピカチュウ』など、『ポケットモンスター』シリーズとは違った世界観を楽しむことができる作品も存在します。

全ポケモン関連ゲームソフトの累計出荷本数 4億8000万本以上／対応言語数
(『ポケットモンスター』シリーズ) 9言語 (2024年3月末現在)

『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』 日本ゲーム大賞「ベストセールス賞」「優秀賞」受賞 (2023年9月)



カードゲーム

ポケモンカードゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観をテーマにしたトレーディングカードゲームであり、1996年10月に販売が開始されました。ビデオゲームと同様の「収集」「対戦」「交換」を、カードで楽しめます。

「ポケモンカードゲーム スカーレット&バイオレットシリーズ」では、ビデオゲーム最新作に登場するポケモンたちも大活躍。魅力的なイラストによるコレクション性ばかりでなく、集めたカードの組み合わせを考えて対戦する戦略性や相手との心理的な駆け引きも醍醐味です。

累計製造枚数 648億枚以上／販売言語数(実績) 15言語／販売地域数(実績)
93の国と地域 (2024年3月末現在)



映像

テレビアニメ「ポケットモンスター」

2023年春より放送が開始された、新シリーズです。不思議なペンダントを持つバルデア地方出身の少女・リコと謎のモンスターボールを持つカントー地方出身の少年・ロイの2人の主人公が、冒険を通じて大事な何かを「見つける」物語です。

「ポケモン Kids TV」／「Pokémon Kids TV」

ポケモンの歌や世界の童謡、英語や知育系動画など、お子様向けのコンテンツを中心に配信する、ポケモンの公式YouTubeチャンネルです。

その他

Netflixシリーズ「ポケモンコンシェルジュ」〈制作：ドワーフスタジオ(株式会社FIELD MANAGEMENT EXPAND) 配信先：Netflix〉

「ポケモンたちの甘い冬」など〈制作：日食記(中国の映像クリエイターチーム) 配信先：YouTube〉

「ただいま(良辰有夢)」〈制作：寒木春華(中国のアニメスタジオ) 配信先：bilibili・YouTube〉

テレビアニメ放送地域数(実績) 192の国と地域 (2024年3月末現在)

「Pokémon Kids TV」YouTubeチャンネル登録者1000万人達成「ダイヤモンドクリエイターアワード」受賞 (2023年12月)



アプリゲーム など

『Pokémon GO』

GPSを活用し、ポケモンの冒険の舞台を現実世界に広げた、位置情報ゲーム。「Pokémon GO Fest」をはじめ、リアルイベントも数多く開催されています。

開発・提供：Niantic, Inc. 株式会社ポケモン

『ポケモンマスターズ EX』

歴代の『ポケットモンスター』シリーズに登場したトレーナーたちと、3対3のチームバトルを楽しむことができるアプリゲームです。バトルの他にも、様々な地方のトレーナー同士の交流を楽しむこともできます。

開発・提供：株式会社ディー・エヌ・エー 株式会社ポケモン

『ポケモンスマイル』

ポケモンといっしょに楽しく歯みがきができる、完全無料アプリゲーム。上手に歯みがきができると、ゲーム内の「むしばきん」を倒して、ポケモンを捕まえることができます。毎日少しずつ遊ぶことで、子どもの歯みがきの習慣化を楽しくサポートします。

開発・販売：株式会社ポケモン

『ようこそ! ポケモンカフェ~まぜまぜパズル~』

“まぜて、つなげて、消しまくる”パズルゲーム。「ポケモンカフェ」の店長となり、ポケモンといっしょにパズルで料理やドリンクを作り、来店するポケモンたちをおもてなしします。

開発：株式会社ジニアス・ソノリティ 発売・販売：株式会社ポケモン

『Pokémon Sleep』 「Google Play ベスト オブ 2023」3部門で大賞
・ユーザー投票部門 ゲームカテゴリ (日本) 大賞
・キュート & カジュアル部門 (日本) 大賞
・Best Game for Good (米国) 大賞 (2023年11月)

『ポケモンユナイト』

5人一組のプレイヤーが、さまざまな戦略を立て、連携したりしながら、時間内に相手ゴールを目指して得点を競い合う、チーム戦略バトルゲームです。eSportsとしての認知も広がっており、Nintendo Switchとスマートフォンの両方に対応しています。

開発：Tencent 発売・販売：株式会社ポケモン

『Pokémon Sleep』

スマートフォンを枕元に置くだけで、睡眠を計測・記録・分析しポケモンの寝顔を集める、睡眠ゲームアプリです。自分の睡眠状態を記録することで、十分な時間・規則正しく寝ることの意識付けが図れ、睡眠リズムを整えるきっかけとなります。

開発：SELECT BUTTON 販売：株式会社ポケモン

『ポケモンメザスタ』

野生のポケモンたちとバトルの後、捕まえたポケモンはタグとしてゲットできるアーケードゲーム。ポケモンセンターをはじめ、全国のショッピングモールなどに設置されています。(1プレイ100円)

開発：マーベラス 運営：タカラトミーアーツ



オフィシャルショップ

出店状況：日本国内 22店舗／日本国外 2店舗（台湾・シンガポール）
商品種数：約2500種類（「ポケモンセンター」）（2024年3月末現在）

ゲームソフト・カードゲーム・オリジナルグッズに加え、ファンにうれしいサービスなども豊富な「ポケモンセンター」や、人気のグッズを中心にラインナップしたカジュアルショップ「ポケモンストア」を展開中。ポケモンの世界観の中で買い物を楽しめることから、世界中から多くのお客様がいらしており、一部国内店舗では免税利用率が20%を超えています。



ライセンス

さまざまな分野でのコラボレーションを実現し、魅力的な商品やサービスを創出することで、1人でも多くの方に向けて、ポケモンとの新たな出会いをご提供していきます。

主なお取引先

伊藤園、サンヨー食品、資生堂、小学館、ソフトバンク、第一屋製パン、タカラトミー、ダスキン、日本生命、日本マクドナルド、バンダイナムコホールディングス、ファーストリテイリング、ファミリーマート、P & G、丸美屋、森永製菓、ユニ・チャーム、読売新聞東京本社、ロッテなど（五十音順）

直近の注目事例：『ポケモンスリープ』コラボレーションサマー 2024

グランド ハイアット 東京と、2024年7月に配信1周年を迎える『ポケモンスリープ』とのコラボレーションです。『ポケモンスリープ』の世界で過ごしているかのような滞在が楽しめる宿泊プランをはじめ、ピカチュウにインスパイアされたバーガーなど、さまざまな体験でおもてなしいたします。（開催期間：2024年7月1日（月）～ 8月31日（土））



その他の取り組み

そらとぶピカチュウプロジェクト

2019年末からの新型コロナウイルス感染症の流行により、人々が外出を自粛せざるを得ない状況下で発足したプロジェクトです。外に出て冒険する楽しさを表現してきたポケモンだからこそ、自由に移動できるようになったそのときに、ワクワクする日々をお届けしたい。そして、航空・観光業界の力になりたい。そんな想いから就航した「ピカチュウジェット」とともに世界の空をつなぎ、さまざまな取り組みを展開しています。

ポケモンローカルActs

日本全国の地方自治体と連携し、地域ごとに「推しポケモン」を選定。各地の魅力と一匹一匹のポケモンの魅力を国内外に同時発信することで、ポケモンファンに各地へ足を運んでいただくことを目指す取り組みです。特産品・伝統工芸品や交通機関とのコラボレーション、ポケモン公園やポケふたの設置などを推進しています。（現在9道県と協定を締結）

一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団

2011年、弊社の有志社員を中心に、被災地の子どもたちを支援する活動「POKÉMON with YOU」が発足。2021年、ポケモンらしい社会貢献を持続的に拡大するために、ポケモン・ウィズ・ユー財団を設立しました。活動領域も広がり、子どもの災害対策支援・子ども食堂の支援・ICT教育支援・ポケモンスカラシップの運営などを推進しています。

ポケモンワールドチャンピオンシップス

2004年にカードゲームの世界大会として始まった「ポケモンワールドチャンピオンシップス」。現在は、ビデオゲーム・『Pokémon UNITE』・『ポケモン GO』部門も追加され、毎年、世界各地の予選を勝ち抜いたプレイヤーが出場。言語の壁を越えた対戦や、コミュニケーションの場となっています。まさにポケモンが世界をつないでいるかのような本大会は、2023年の横浜で18回目の開催となり、50の国と地域から2000名を超えるプレイヤーが会場。インターネット配信視聴者数は、国内で延べ480万人以上にのぼりました。

2023年に横浜で開催された、「ポケモンワールドチャンピオンシップス」の様子



POKÉMON



ポケットモンスター、略してポケモンは、たくさんの謎を秘めたふしぎな生き物。これまでに1000種以上が発見されており、その生態は非常に個性豊かです。

始まりは、1996年に株式会社ゲームフリークが開発、任天堂株式会社より発売された1対のゲームソフト『ポケットモンスター 赤・緑』で、後に株式会社クリーチャーズが企画・開発したポケモンカードゲームへと続きました。

捕まえて育てる「コレクション性」や、友達同士で交換や対戦をする「コミュニケーション性」などの遊びの要素が詰まったポケモンは、テレビアニメ・映画・アプリ・グッズなど幅広く展開され、グローバルな人気を得ています。